

## 【小学校・算数】

### 平成 30 年度の重点

#### 1 指導計画及び評価計画の工夫・改善

- 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着と、思考力・表現力の育成がバランスよく図られるよう、算数的活動の一層の充実とともに、スパイラルによる教育課程の編成や学び直しの機会の設定に配慮するなど、指導計画の工夫・改善に努める。
- 4つの領域（「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」）の相互の関連性を図るよう配慮する。
- 評価計画の作成に当たっては、「算数への関心・意欲・態度」「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」について、評価規準を設定するとともに、適切な評価がなされるよう工夫・改善に努める。

#### 2 指導方法及び評価方法の工夫・改善

- 算数を学ぶことの楽しさや充実感が味わえるよう、数量や図形についての意味がよく分かる授業、作業的・体験的な活動など、身体を使ったり、具体物を用いたりする活動、考えたことなどを表現したり、説明したりする活動の両面を重視した算数的活動や問題解決的な学習の充実に努める。
- 児童が自ら課題を発見し、意欲的に学習できるよう、教材提示や練り上げの場の設定等の指導方法の工夫・改善に努める。
- 児童の身近な生活経験、興味・関心等を考慮しながら主体的な学習ができるよう、教材の開発及び工夫・改善に努める。
- 児童一人ひとりの思考の筋道やつまづきなどを的確にとらえることができるよう、指導と評価を工夫・改善するとともに、学び直しの機会を含めたきめ細かな指導に配慮する。また、多様な考え方を生かすとともに、見通しや振り返りを大切にし、個に応じた指導の充実に努める。
- 自分の考えを表現・発表し、話し合いを通して学び合えるよう、表現力やコミュニケーション能力の育成に努めるとともに、集団を大切にしながら指導の充実に努める。
- 言葉や数、式、図、表、グラフ等を使って、具体的な場面と関連を図りながら、指導の工夫・改善に努める。
- 学習指導に当たっては、児童の学習状況を十分配慮して展開されるよう、指導と評価の工夫・改善に努める。

#### 3 指導における留意点

- 言語活動の充実に図る観点から、表現する機会の充実に努める。
- 道徳教育の目標に基づき、道徳科などとの関連を考慮しながら、道徳科の内容について、算数科の特質に応じて適切な指導をする。
- 全国学力・学習状況調査等の調査結果も踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能と、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力をバランスよく育成するために、各校における児童の実態に応じた具体的な視点をもって授業の改善・充実に努める。

#### 参考

- ◆ 県教育委員会ホームページ
  - 評価資料集Ⅲ－評価活動の参考資料として－小学校  
<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/363881.pdf>
  - 教育課程編成の指針（幼稚園，小学校，中学校）小学校算数（平成 22 年作成）  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/cnt/f6668/index.html>
  - 教育課程編成の指針（幼稚園，小学校，中学校）小学校算数（平成 30 年作成）  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/kyouikukateisisinn.html>
- ◆ 文部科学省ホームページ
  - 移行措置関連資料  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/1387780.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387780.htm)